レジメン名

EP

出典　J Clin Oncol 23:9290-9294,2005

実施部署区分

■入院　□外来　□処置

対象疾患

胚細胞腫瘍
□進行・再発 ■補助療法（術前・術後） □ □

投与減量の基準

その他			

投与中止の基準

WBC	1000/mm^{3}未満#	Plt	5万/mm^{3}未満#
ANC	500/mm^{3}未満#	Cr	3mg/dL以上
Hb	8.0g/dL未満#		
	#元文献に中止基準ないため、松本医師と協議し G3の血液毒性、Cr上昇とした。		

1クール期間　21-28日

（次のクールまでの標準期間）

総クール数　4クール

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度（時間）	投与日(d1、d8等)
エトポシド	100mg/m^2	輸液500mL	2時間	day1-5
シスプラチン	20mg/m^2	NS250mL	1時間	day1-5

1日投与順
（経時的にﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ・ﾎﾟｽﾄﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ、溶解液まで含む）

day1
①輸液1500mL（9時間）
②ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ3mgﾊﾞｯｸﾞ＋デキサート9.9mg（30分）
③エトポシド100mg/m^2＋輸液500mL（2時間）
④マンニット250mL（30分）
⑤シスプラチン20mg/m^2＋生食250mL（1時間）
⑥マンニット250mL（30分）
⑦輸液500mL＋ﾌﾛｾﾐﾄﾞ20mg（3.5時間）
⑧輸液1000mL（7時間）

day2-5
①輸液1500mL（9時間）
②ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ3mgﾊﾞｯｸﾞ＋デキサート6.6mg（30分）
③エトポシド100mg/m^2＋輸液500mL（2時間）
④マンニット250mL（30分）
⑤シスプラチン20mg/m^2＋生食250mL（1時間）
⑥マンニット250mL（30分）
⑦輸液500mL＋ﾌﾛｾﾐﾄﾞ20mg（3.5時間）
⑧輸液1000mL（7時間）

＜内服＞
day2-4
アプレピタントカプセル(125-80-80)
day1は化学療法開始1時間前、day2,3は朝食後
day2-5
オランザピン5mg 夕食後
（糖尿病は禁忌、高齢者は2.5mgへ減量を考慮するなど慎重に投与）